

高等学校 令和7年度 教科

国語

科目 現代の国語

教科 国語

科目 現代の国語

単位数 2 単位

対象学年組 第 1 学年 A 組～ B 組

教科担当者 (A組: 下岡) (B組: 下岡) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書 (高等学校 現代の国語 (第一学習社))

教科 国語

の目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で正確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚や態度を養う。

科目 現代の国語

の目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で正確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元「『生きもの』として生きる」 【知識及び技能】 常用漢字を文や文章の中で活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。	<知識及び技能> ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 <思考・判断・表現> ・書くこと ・読むこと				・文章構成について理解を深めている。 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときにも、表現の仕方を工夫している。 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。				5
	単元「羅生門」 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、日常生活の中で使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。	<知識及び技能> ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 <思考・判断・表現> ・書くこと ○一人1 台端末の活用し論述する。				・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方考えるときにも、表現の仕方を工夫している。 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。				9
	定期考査									1
	単元「水の東西」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	<知識及び技能> ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 <思考・判断・表現> ・書くこと ・読むこと				・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。				7
	単元「『間』の感覚」 【知識及び技能】 ある事柄を説明しようとするとき、別のものと比較することで、その特徴が相手に伝わりやすくなることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	<知識及び技能> ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 <思考・判断・表現> ・書くこと ○一人1 台端末の活用し論述する。				・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方考えるときにも、表現の仕方を工夫している。 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。				10

[illegible]